

事務事業名		中山間地域振興プロジェクト事業(農業)			会計	一般会計	実施区分		
H28担当課等名		農業課		H28係等名	生産振興係		H27係等名	生産振興係	
基本計画上の位置づけ		政策	8	山・里・街の魅力を高め、交流と連携によるグローバルなまちづくり					
		施策	85	中山間地域振興の推進					
目的	対象(誰・何を)	中山間地域の農家及び農業の持つ機能			対象指標	指標名及び単位			27年度数値
	意図(どういう状態にするか)	課題解決のに向けた新たな取り組みを支援し、事業の立ち上げへ結びつける				7地区農家数(農林業センサス2015)(戸)			1561
	向上させたい上位施策の成果指標	自主的な地域活動5,500、自主的な地域づくりの参加者数200,000人				7地区経営耕地面積(農林業センサス2015)(ha)			635
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	支援した取り組みが、継続的な事業として実施されている数(累計)			3	4	5	-	
	定性目標								
事業概要	<p>人口減少が進み、地域の担い手が高齢化する中山間地域の象徴的な課題が顕在化している地区において、中山間地域振興計画に基づくプロジェクト事業を実施する。</p> <p>地域農業の課題に対して積極的に関わっている地区農業振興会議を中心に、農業改良普及センター、JA等が連携して事業を推進する。</p> <p>1 全国的にも貴重な景観と生活文化を有してい遠山地区対象地域として、厳しい生活環境の中山間地域振興のモデルとなる取り組みを行う。</p> <p>2 中山間地域の農業農村の課題解決に向けて新たな取り組みを支援し、事業の立ち上げへ結びつける。また、モデル事業として他地区への波及効果をねらう。(想定される新たな取り組み支援:都市との交流連携による農業農村の活性化、遊休農地の活用、農業特産物のブランド化、販路開拓、JA施設活用・農村景観の保全、活用など)</p>								
事業内容					名称		活動指標		
27年度事業内容	下栗モデル支援事業 (1)下栗応援団による遊休農地の耕作支援 (2)急傾斜畑の保全対策の実施				1 (1) 応援団の数 遊休農地の活用面積 (2) 急傾斜畑の対策延長		1 (1) 14グループ 50a (2) 1,150m		
	事業コスト					26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額
事業費計(千円)①		1,963	1,923	1,923	1,394				
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他									
一般財源		1,963	1,923	1,923	1,394				
人件費計(千円)②		358		0					
正規職員所要時間		100							
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		2,321	1,923	1,923	1,394				
事業内容・目標達成状況の振り返り	下栗地区の農業チームを中心に関係部署が連携して、地区外から地域づくりを支援する応援団による遊休農地の活用に取り組んだ。								
改革改善の考え方	①問題点	長期的な視点を持ちながらも、急速に進んでいる人口減少と高齢化に対応するために各世帯の現状を把握しながら地域内での優先度を検討し、事業推進していく必要がある。「下栗の里」の認知度が急激に高まり、観光シーズンには、生活道路が渋滞するという新たな課題が発生し、その対策等に地域住民等も時間を割かれ本事業にも少なからず影響が出ている。							
	②改革提案	取組に優先順位を付けながら、進行管理を行なっていく。特に下栗の緊急性のある急傾斜畑の土留め対策及び遊休荒廃地対策について継続的に取り組む。また、地域おこし協力隊と連携し、地域支援を進める。							